



久山中学校だより



令和6年6月1日発行 第3号

TRY ANGLE~青黄赤=Best Yell Relationship~ ~体育会ブロック結団式の実施~

4月23日(火)に、令和6年度体育会のブロック結団式を行いました。体育会スローガン「TRY ANGLE~青黄赤=Best Yell Relationship~」に込められた意味を、体育会実行委員長の池田 聡士郎さんは次のように全校生徒に訴えました。

TRIANGLEには、どの角度からでも挑戦してほしいという思いを込めました。例えば、学級で応援を考えると自分から積極的に意見を出したり、自分の役割に失敗を恐れず挑戦したり、些細なことにも挑戦してほしいです。青黄赤=Best Yell Relationshipには、どのブロックも全力で応援し、仲間と協力し最高の体育会をつくらうという意味を込めました



【スローガンを発表した生徒会役員】

自ら率先垂範することを誓う実行委員長の言葉に、全校生徒が力強く応えました。

続く、各ブロックの結団式でも、ブロック長たちが、所属する下級生の印象に残るよう表現方法を工夫しながらブロックスローガンを提案していました。生徒会役員をはじめ、各ブロックのリーダーたち(下表)の本気と創造性が輝く結団式となりました。

	1組ブロック		2組ブロック		3組ブロック	
ブロック長	小林 歩武	田鍋 美月	吉原 侑翔	阿部 市柊	柴田 蓮大	吉郷 心花
通信リーダー	家入 啓彰	多田 詠音	廣橋 涼真	亀井 夢叶	山下 優晴	井上 杏桜
巡回走リーダー	井上 寛翔	平島 妃織	鳥飼 悠人	山口 美優	内藤 輝琉	矢部 明日菜
綱引きリーダー	佐谷 怜也	坂口 恵蓮	阿河 大琉	今田 野子	朝日 泰輝	山崎 遙夏
大玉転がしリーダー	安倍 裕斗	中村 光希	池脇 虎哲	中村 莉子	篠原 遼	柚木 紫帆
集団行動リーダー	大森 拳志郎	青木 智夏	阿部 依寅	今村 結愛	山村 佳嵩	矢野 ほのか

スローガンの具現化に向けて ~体育会の実施~

5月18日(土)、晴天のもと体育会を行いました。体育会当日を含めて体育会期間中は、熱中症対策として、最低20分おきに給水を指導することを徹底しました。保護者の皆さまには、ご家庭でのお子さまの見取りと水分の準備等にご尽力いただきありがとうございます。



【大縄跳びの様子】

体育会スローガンや各チームのスローガンのもと、久中生たちは、競技、係活動、応援に全力で取り組み、仲間たちと力を合わせて体育会を楽しみ、最高の体育会を創り上げることができました。冒頭のラジオ体操では、練習の成果を發揮して全校生徒が動きを揃え、ブロックを超えた集団の美を表現することができました。続くブロック対抗競技、学級対抗競技等でも、全力で競技しながら、全力で仲間を応援し、讃える久中生の積極性がいたるところで發揮されていました。



【3学年集団行動の様子】

3学年の集団行動では、3年生一人一人が自らの判断と責任で行動した結果、一糸乱れぬ圧巻の演技を披露することができました。集団行動でありながら集団に埋没しない主体的な姿は、本校の重点目標「自己実現を目指し、主体的・協働的に活動する生徒」を具現化した姿そのものでした。また、1・2年生は、3年生の集団行動を、固唾を呑んで見守っていました。3年生が魅せた姿を、1・2年生が記憶に焼き付け、新たな伝統を築く決意を抱いた瞬間でした。学年を超えた絆が、新たな学校文化の創造につながることを心から期待します。



【ブロック対抗リレーの様子】

葛藤する道徳科授業の推進 ~道徳オリエンテーションの実施~

4月30日(火)の道徳科の時間に、全学年で共通資料を使って道徳オリエンテーションを実施しました。子どもの主体性の向上には、生徒自らが道徳的価値について考え続けるような授業が不可欠です。そこで、本校では「葛藤する道徳科授業」を目指し、生徒が発表や対話を通して考えを「強化」「付加」「修正」していく授業づくりについて全教員で共通理解し、実践しています。



【道徳オリエンテーションの様子】

人間関係形成能力の育成に向けて ～ウォークラリーの実施～

5月2日（金）に全校ウォークラリーを実施しました。体育会ブロック毎に1～3年生で構成される班に分かれ、①町内6つのチェックポイントを回る。②そこで出題される課題を班員と協力して解く。③正答し、得点するという活動です。最後に班の得点を集計し、優勝ブロックを決めます。

一連の行程で、生徒は、異なる学年の仲間、遠足中の小学生、地域の方と対話する必要性に迫られます。この対話を通して、説明する力、妥協する力、相手に寄り添う力等の人間関係形成能力が育われます。実際に、生徒たちは、班員と協議してコース変更の決断をしたり、小学生と目線を合わせたリ、地域の方にヒントをお願いしたりして楽しみました。

優勝は青ブロックとなりましたが、参加した久中生全員にとって有意義な学びの場となりました。ご協力いただいた山田・久原小学校の先生方、地域学校協働本部の皆様、本校PTA会員の皆様、見守りにご支援いただいた各区長様をはじめ住民の皆様様に感謝申し上げます。以下は班長の振り返りの内容です。

- ・相手の気持ちを考えて発言・行動する大切さがあった。
- ・通りすがりの地域の人に挨拶したら色々教えてくれた。挨拶の良さがわかった気がする。
- ・自分から地域の人に挨拶できたことが成長です。
- ・知らない人や話したことがない人とも仲良くできる気がした。



【地域の皆様との交流の様子】



【小学生との交流の様子】

ふるさと久山を愛する生徒の育成 ～久山スポーツフェスタの開催～

5月12日（日）に本校体育館、町民体育センターで本町スポーツフェスタが開催されました。当日は生憎の雨天でしたが、多くの住民の皆様の参加と応援により、両会場で熱戦が繰り広げられました。久中生も参加し、地域の方や保護者の方と共に談笑し、汗を流していました。全国のコミュニティで、中高生離れが課題に挙げられて久しいですが、本町では子どもを巻き込んだつながりづくりが堅固に定着していることを改めて実感できました。本校でも、地域行事の日を子どもの人間関係形成能力を育成する大切な場と捉え、今後も、学校行事を予定しない、大会を除いて部活動を中止する等、子どもを地域にお返しできるよう努めてまいります。



【スポーツフェスタの様子】

日常的な異年齢集団活動の推進 ～生徒会自治委員会の取組～

5月8日（水）から17日（金）の期間、元気な挨拶で体育会を成功させることを目的に、本校自治委員会主催で「元気な挨拶をしよう」の取組が行われました。この活動は、ブロック別に異なる学年の生徒が、昇降口前で登校する生徒へ挨拶するというものです。この期間中、いつも以上に清々しい挨拶の声が校庭に和し、早朝から学校の雰囲気は活気あるものになりました。加えて、「今日は体調大丈夫か?」「忘れ物はない?」等、他者を気遣う声かけも聞かれるようになりました。このように、本校では学校行事だけではなく、清掃や委員会取組等の機会を活用し、日常的に異年齢集団活動を仕組んでいます。



【取組「元気な挨拶をしよう」の様子】

保護者アンケートの結果について

4月26日（金）授業参観と5月18日（土）体育会に際してアンケートにご協力いただき、ありがとうございます。結果を右のとおりお知らせします。これらの結果を、教育活動の見直し等に活用させていただきます。

質問項目	4/26	5/18
①意欲的な態度	3.76	3.93
②意思表示	3.50	3.87
③話し合い活動	3.59	3.80
④生徒四訓「挨拶」	3.83	3.67
⑤生徒四訓「黙勤清掃」	3.85	3.73
⑥生徒四訓「言葉遣い」	3.72	3.73
⑦生徒四訓「身だしなみ」	3.80	3.84

数値は、4段階尺度法の平均値